

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
北九州市折尾地区

平成29年2月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	自動車の平均旅行速度	km/h	19	27	30	確定 ●	○	あり			—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	折尾中間線の供用開始などにより、駅へのアクセシビリティが向上し、自動車の平均旅行速度の向上に寄与した。	
指標2	緊急車両進入困難区域	%	100.0	40.0	37.6	確定 ●	○	あり			—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	折尾土地区画整理事業などの進捗により、老朽家屋の移転が進み、地区内の特定消防区域(火災危険度の高い区域)の指定が一部解除され、防災上の課題が改善されている。	
指標3	街なかにおける居住人口	人	24,689	24,950	24,728	確定 ●	△	あり ●	24,630	平成28年11月	△	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市の人口が減少傾向の中で、駅から少し離れた古い住宅地や県営住宅等で住人の高齢化が進んだことによる一世帯人員の減少などにより目標まで達成することができなかった。しかし、駅周辺の道路の整備や金山川河川空間の整備などによって、居住環境が向上し、住宅・マンション等の建設が進んだことなどにより、駅周辺では人口が増加した。
指標4	イベント参加者数	人	2,950	2,950	4,784	確定 ●	○	あり	5,140	平成28年11月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	地元のまちづくり団体等と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施したことにより、イベント参加者の増加し、まちのにぎわいづくりに貢献した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	折尾駅1km圏における居住人口	人	15,398	/	15,515	確定 ●	/	/	15,597	平成28年11月	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	住宅等の新設に加え、周辺道路の整備や金山川河川空間の整備などによって、居住環境が向上し、折尾駅1km圏における居住人口が増加した。
その他の数値指標2	/	/	/	/	/	確定 ●	/	/	/	/	/	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	/

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	住環境及び防災上の課題の改善	・土地区画整理事業の推進	・土地区画整理事業により、1工区(堀川町地区)では宅地整備工事により、安全・安心で快適な住環境の整備が進んでいる。	・安全・安心で快適な住環境の整備を目指し、土地区画整理事業を着実に実施する。
	街なか居住の推進	・金山川遊歩道の整備 ・土地区画整理事業の推進 ・地元のまちづくり団体と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施 ・ポスター等により事業により形成される将来のまちの姿をPR	・金山川の遊歩道整備により、魅力ある都市空間の形成が進んでいる。 ・土地区画整理事業により、1工区(堀川町地区)では宅地整備工事により、安全・安心で快適な住環境の整備が進んでいる。 ・イベントやポスター等により、折尾のまちの魅力をPRできた。	・公園や歴史的建造物の保全・活用、河川空間の整備等によって、魅力ある都市空間の形成を進める。 ・引き続き地元まちづくり団体と協働し、イベント等を通じて折尾のまちの魅力をPRに努め、街なか居住を推進する。
	住民との協働によるまちづくりの推進	・地元のまちづくり団体と定期的な意見交換を実施。 ・地元のまちづくり団体と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施	・地元のまちづくり団体と意見交換することができた。 ・新たなイベントを行うなど、まちのにぎわいづくりに貢献した。	・にぎわいの継続や新たなまちづくりを、今後も地域住民、地元まちづくり団体と協働して進める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅へのアクセシビリティ及び周辺交通環境の改善	・街路事業、道路事業の推進 ・連続立体交差事業の推進	・街路事業、道路事業の用地買収が進捗し、駅周辺の路線ではH28年度から工事に着手した。 ・連続立体交差事業は着実に工事が進捗し、H29年1月に鹿児島本線の2次仮線切り替えを行い、一部新しいホームを供用開始する。	・H32年度の新駅舎開業に向けて、周辺の街路・道路の整備を着実に実施する。 ・30年度の筑豊本線の切替、H32年度の新駅舎の開業及び鹿児島本線の切替等に向けて、連立事業を着実に実施する。
	魅力ある都市空間の形成	・金山川遊歩道の整備 ・土地区画整理事業の推進 ・地元のまちづくり団体と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施 ・ポスター等により事業により形成される将来のまちの姿をPR	・金山川の遊歩道整備により、魅力ある都市空間の形成が進んでいる。 ・土地区画整理事業により、1工区(堀川町地区)では宅地整備工事により、安全・安心で快適な住環境の整備が進んでいる。 ・イベントやポスター等により、折尾のまちの魅力をPRできた。	・公園や歴史的建造物の保全・活用、河川空間の整備等によって、魅力ある都市空間の形成を進める。 ・引き続き地元まちづくり団体と協働し、イベント等を通じて折尾のまちの魅力をPRに努め、街なか居住を推進する。
	住民との協働によるまちづくりの推進	・地元のまちづくり団体と定期的な意見交換を実施。 ・地元のまちづくり団体と連携して、駅周辺や事業用地を活用したイベントを実施	・地元のまちづくり団体と意見交換することができた。 ・新たなイベントを行うなど、まちのにぎわいづくりに貢献した。	・にぎわいの継続や新たなまちづくりを、今後も地域住民、地元まちづくり団体と協働して進める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項